



バーゼルワールド2019

パテック フィリップ ジュネーブ

アラーム・トラベルタイム5520P-001 モデル 世界に飛翔するトラベラーに最適な究極のタイムピース

パテック フィリップは、トラベルタイムのエクスクルーシブなデュアル・タイムゾーン機構に、24時間表示アラームを組み合わせた、新しいグランド・コンプリケーションを発表する。アラーム音は、クラシックなゴング1本をハンマーで打つことにより生成される。マニュファクチュール パテック フィリップは、このニューモデルのためにすべての機能を完全に統合したまったく新しいムーブメントを創作し、アラーム機構に関する4件の技術特許を申請中である。5年にわたる開発努力の賜物であるこの新しいキャリアーを搭載したニューモデルは、パイロット・トラベルタイムのデザインを反映した、エレガントなプラチナ・ケースに取められている。

創業以来180年にわたり、パテック フィリップは、パフォーマンス、信頼性、機能性に代表される究極の高級時計製作を追求してきた。マニュファクチュール パテック フィリップの創作タイムピースは、最小の直径と厚さからなるスペースの中で最大の技術的複雑さを実現することを目指してきた。しかも各々のコンプリケーション機能は、その複雑さの度合いにかかわらず、常に安全に、容易に操作できるものでなければならない。新しいアラーム・トラベルタイム5520P-001モデルは、この野心的な原理を完璧に体現したものだといえるだろう。

メカニカル・チャレンジ

新しいアラーム機構を開発し、これをトラベルタイムのデュアル・タイムゾーン機構と組み合わせるという命題を与えられたパテック フィリップ技術陣にとって、新しいタイムピースをできるだけ薄型化するという事は当然に必要な条件であった。その結果、厚さの増加を抑えるため、既存のムーブメントにモジュールを追加するのではなく、まったく新しい統合されたムーブメントを創作することになったが、これは設計、製作においてははるかに困難な道であった。技術陣はまた、容易に操作でき、論理的な機能性を備え、誤った使用によっても損傷しないグランド・コンプリケーションの創作を目指した。一言でいえば「知性あるタイムピース」を構想したのである。こうして574個の部品から構成され、ニューモデルのために特別に開発されたキャリアーAL 30-660 S C FUSが誕生した。このきわめて複雑な自動巻ムーブメントは、中央ローターを備え、直径31 mm、厚さは6.6 mmである。Gyromax®テンプに加え、シリコン・ベースのハイテク素材Silinvar®製Spiromax®髭ぜんまいが採用されている。このアヴァンギャルドな素材の他に類を見ない特性と、髭ぜんまいの特許取得の幾何学的形状により、パテック フィリップ・シールに定められた日差-3〜+2秒という計時精度、そして驚異的な信頼性が実現されている。ムーブメントは、秒単位の精度で時刻合わせが可能なストップセコンド機構を備えている。サファイヤクリスタル・バックを通してムーブメントの洗練されたアーキテクチャーと、面取りとポリッシュ仕上げを施した受け（ブリッジ）、サーキュラー・コート・ド・ジュネーブを施し、新しい丸い凹みを備えた21金中央ローターなどの精緻な仕上がりを鑑賞することができる。



きわめて有用なデュアル・タイムゾーン

1997年に発表されたエクスクルーシブなトラベルタイムは、高度なデュアル・タイムゾーン・システムを特徴としている。時計は、センターに2本の時針を備えている。ひとつはスケルトン時針であり、出発地の時刻を表示する。もうひとつはスケルトンでない通常の時針であり、着用者のいる現地の時刻を表示する。出発地と現地の昼夜は、それぞれ3時半位置（HOME）と9時半位置（LOCAL）に設けられた丸い小窓に、白と青の別で表示される。旅行中は、ケース左側面の2つのプッシュボタンのひとつを押すと、通常の時針を1時間刻みで前進（8時位置）、または後退（10時位置）させて、現地の時刻に合わせることができる。タイムゾーン機構の巧妙な設計により、時計の精度にまったく影響を与えずに現地時刻の調整を行うことができる。操作を容易にするため、プッシュボタンには+または-の記号が刻まれている。操作の前に、まずプッシュボタンを1/4回転させてロックを解除する（刻みが入っているため操作は容易である）。操作が終わったら再び1/4回転させてロックする。防水機能は、プッシュボタンのロックが解除されている状態でも発揮される。文字盤下部のサブダイヤルが現地の日付を指針表示する。したがって現地時刻の時針を前進または後退させて真夜の零時を過ぎると、日付もこれに応じて変化する。興味あるのは、2本の時針が同一のタイムゾーンを表示する時は、スケルトン時針は完全に通常の時針と重なり、その下に隠れるということである。

24時間表示アラーム

有用なトラベルウォッチを創作するため、パテック フィリップは、日付表示と同じく現地時刻に同期するアラーム機能をデュアル・タイムゾーンに組み合わせた。アラーム機能は、マニファクチュール パテック フィリップの新機能というわけではない。5番目のゴングをハンマーで叩く目覚しアラームは、25年間、世界で最も複雑な携帯時計の地位を保持した著名なキャリバー 89の33の複雑機能のひとつであった。2014年に発表されたパテック フィリップのグランドマスター・チャイムに、マニファクチュール パテック フィリップはアラームを含む5つのチャイム機構を搭載した。この世界初のアラームは、設定した時刻になると、ミニット・リピーターと同じ音の組み合わせで鳴るという特徴を誇っていた。

新しいアラーム・トラベルタイム 5520P-001モデルにおいてマニファクチュール パテック フィリップは、クラシックなゴングを採用したアラームという設計概念を採用した。アラームが作動する時、ハンマー（サファイヤクリスタル・バックを通して見える）は、2.5Hz（1秒あたり2.5回）の間隔で最大40秒までムーブメント外周を一周するゴングを打つ。これは合計約90回のストライクに相当する。ミニット・リピーターと同じく、カラトラバ十字で飾られた受け（ブリッジ）の下の遠心ガバナーが規則正しく持続する音のリズムを実現している。アラーム機構は、4時位置のリユーズで巻き上げるアラーム専用の独立したぜんまいを備えている。内蔵されたクラッチ機構が不注意によるぜんまいの巻き上げ過ぎを防ぐ。注目に値する点は、新しいアラーム・トラベルタイム 5520P-001モデルが、パテック フィリップ最初の防水ケースを備えたチャイム・ウォッチだということである。これは湿気の多い熱帯地方に旅行する人々のための重要な特徴といえるだろう。最高の音質を保証するため、ゴングは通常のようにムーブメントにではなく、ケース側面に直接、取り付けられている。これが防水ケースによる音波の減衰を抑えているのである。

他に類を見ない論理的な機能性

パテック フィリップの誇る最高のチャイム・ウォッチに相応しいずば抜けた音質に加え、新しいアラーム・



《報道資料》 ページ 3

トラベルタイム 5520P-001 モデルは、注目に値するユーザーフレンドリーと論理的な機能性によっても群を抜いており、これらに関して技術特許を申請中である。パテック フィリップ技術陣は、すべての機能を制御する二重コラムホイールを採用することにより、最高レベルの操作性を実現した。

アラーム機能表示は、文字盤の上半分に配置されている。最高の読みやすさを保証するため、マニファクチュール パテック フィリップはアラーム時刻のデジタル表示（特許申請中）という解決法を採用した。12時位置の二重表示窓に設定されたアラーム時刻を表示する。そのすぐ下には、午前6時～午後6時を白、午後6時～午前6時を青で示す丸い昼夜表示窓がある。4時位置のリュウズを中間位置に引き出し、いずれかの方向に回して15分刻みでアラーム時刻を設定する。アラーム時刻の時、分表示機構が差動歯車を駆動する。この差動歯車は、アラーム時刻を現在の現地時刻と絶え間なく比較する。機械的な遊びを補正するシステムにより、1分単位の精度で次のクォーター（15分）にアラームをセットすることができる。例えば12時14分に、12時15分にアラームを鳴らすよう設定できる。この機構も特許申請中である。

2時位置のプッシュボタンによりアラームのON/OFFを行う。12時位置直下の小さいベル型表示窓が、アラームがONの時は白、OFFの時には黒となる。このプッシュボタンには、アラームのON/OFF表示窓と同じ形の小さなベルのシンボルが刻まれている。またこのプッシュボタンは、2つのタイムゾーン調整プッシュボタンと同じロック機構を備えている。

完璧なセキュリティ・システム

アラーム機能を制御し、モニターするシステムは、故障のない機能性を保証するため、誤った操作を行った場合も、ムーブメントの損傷のリスクを防ぐ安全・隔離機構を搭載している。アラーム音が終わると、直ちにアラームのON/OFF表示が自動的に切り替わり、OFF表示となる。この状態では、アラーム専用ぜんまいを再び巻き上げるまで、再度アラームをセットすることはできない。この理由から、アラーム機構は常にぜんまいの巻き上げ状態を検出できなければならない。このため、アラーム専用ぜんまいの軸にフィンガー状の部品が取り付けられた複雑な仕組みが必要となった。このフィンガー状の部品のなす角度が、ぜんまいの連続駆動可能時間を定義し、ぜんまいが完全に巻き上げられて初めてアラームのON/OFF表示がON表示に変るのである。一方OFF状態に切り替えることはいつでも可能である。着用者は、アラームが鳴っている間でも、まったくリスクなしに別のタイムゾーンへの変更を行うことができる。この場合、メカニズムは、鳴っているアラームを一旦中断し、アラームをOFF表示に切り替える。また新しいアラーム時刻が設定された際にも、アラーム音は中断される。アラーム専用ぜんまいは4時位置のリュウズを時計回りに回すことによって巻き上げられる。クラッチ機構が内蔵されており、これがぜんまいの巻き上げ過ぎによるアラームの動作停止を防ぐ。さらに特許申請中のシステムにより、アラームのON/OFF表示がON表示になっていると、アラーム専用ぜんまいの巻き上げができないようになっている。時計機能を駆動する主ぜんまいは、同じリュウズを反時計回りに回すことにより、いつでも巻き上げることができる。

迫力あるデザイン

アラーム・トラベルタイム 5520P-001 モデルは、一目見ただけで2015年に発表された今ひとつのパテック フィリップ・タイムピース、カラトラバ・パイロット・トラベルタイムを彷彿させる。航空界の発展からインスピレーションを与えられ、デュアル・タイムゾーン機能を備えたこのモデルは、今日、紳士用5524モデルと婦人用



《報道資料》 ページ 4

7234モデルの2つのバージョンがラインナップされている。パテック フィリップは、このモデルから独自性溢れるアヴィエーション・スタイルのケースと、ほぼ同一のサイズを踏襲した。新しいムーブメントははるかに複雑なものだが、これは可能であった。技術陣の多大な開発努力により、構成部品とサブアッセンブリーのさらなる小型化が実現されたからである。

ベゼルとラグが統合された直径42.2 mm、厚さ11.57 mmのケースは、最も希少な貴金属であると同時に最も加工が困難なプラチナ素材から冷間鍛造により成型される。ついでマニュファクチュール パテック フィリップの工房において精密に機械加工され、全面に入念なポリッシュ仕上げが行われる。滑らかなベゼルは外側に向かってわずかに傾斜している。またわずかにカーブしたラグのフォルムがケースと完璧なハーモニーを見せている。パテック フィリップのすべてのプラチナ時計と同じく、アラーム・トラベルタイムは、ケース側面の6時位置にダイヤモンドがセッティングされている。

テクニカルでエレガントな魅力に溢れた文字盤は、最高の視認性を誇ると共に、アヴィエーター・ウォッチとしての出自を強調している。大型の植字アラビア数字と幅広のバトン型指針（いずれもスーパーミノヴァ夜光付ホワイトゴールド製）は、エポニーブラック・ソレイユ文字盤と完璧なコントラストをなしている。すべてのトラベルタイム・ウォッチ同様、出発地時刻を示すスケルトン時計の存在は控え目である。5分毎にスーパーミノヴァ夜光付のドットを配したシュマン・ド・フェール（ルール）型分スケール上をスリムなホワイトの秒針が回転する。6時位置サブダイヤルの小さなホワイトの指針が1～31のスケール上に日付を表示する。月の最初の日を強調するため、《1》はレッドに着色されている。薄く平らなサファイヤクリスタル・ガラスは、アラームの音響を向上させている。視覚的なバランスをとるため、4時位置のリユズは、3個の刻み入りプッシュボタンと同じデザインを採用しているが、ロック機構はついていない。完璧なシンメトリーを実現するという観点から、これら4個のリユズとプッシュボタンがケース側面の同じ位置に来るよう、パテック フィリップは、伝達レバーのシステムを採用している。新しいアラーム・トラベルタイム5520P-001モデルは、文字盤カラーにマッチしたマット・ブラックに反対色のステッチが入ったカーフスキン・バンドを装着している。採用されたプラチナ製のネジ止めピンバックルは、アヴィエーター・タイムピースのために特別にデザインされたものである。

世界に飛翔するトラベラーに最適な究極のタイムピース、新しいアラーム・トラベルタイム5520P-001モデルは、革新的なアラーム機構とデュアル・タイムゾーン機構を備え、タイムピースの時を超越した美しさと共に、機能性と信頼性の向上を絶え間なく追究するという、パテック フィリップにおける技術革新の伝統を完璧に体現している。





技術仕様

アラーム・トラベルタイム 5520P-001 モデル

ムーブメント： キャリバー AL 30-660 S C FUS 自動巻ムーブメント
クラシックなゴング1本をハンマーで打つ24時間表示アラーム、デュアル・タイムゾーン（出発地と現地時刻表示）、出発地と現地各々の昼夜表示、日付を指針表示、センターセコンド

総 径： 31 mm
厚 さ： 6.6 mm
部品総数： 574個
石 数： 52石
連続駆動可能時間： 最小42時間、最大52時間
巻上げローター： 単方向巻上げ式21金中央ローター
振動数： 28,800 振動（片道）/時（4 Hz）
テンプ： Gyromax®
髭ぜんまい： Spiromax®（Silinvar®製）
髭持ち： 可動式

セッティング機能： リュウズの3位置
・押し込んだ位置： ぜんまいの巻き上げ（時計回りでアラーム専用ぜんまい、時計反対回りで時計の主ぜんまい）
・一段引き出した位置： 15分刻みでアラーム時刻を設定
・いっばいに引き出した位置： いずれかに回して時刻合わせ（ストップセコンド付）

表 示： 指 針：
・現地時刻表示用時針（上側）
・出発地時刻表示用時針（下側）
・分針
・センターセコンド
・日付表示針（6時位置）

表示窓：
・アラーム時刻の24時間デジタル表示（12時位置）
・アラームのON/OFF表示（12時位置）
・アラーム時刻の昼夜表示（12時位置）
・出発地時刻の昼夜表示（3時半位置）
・現地時刻の昼夜表示（8時半位置）





- 調整ボタン： ・日付調整（6時半位置）
- プッシュボタン： ・現地時刻を1時間刻みで前進（8時位置）
・現地時刻を1時間刻みで後退（10時位置）
・アラームのON/OFF（2時位置）
特許取得のセキュリティー・システム（プッシュボタンを1/4回転させてロックおよびロック解除を行う）
- 刻 印： パテック フィリップ・シール
- 外 装
- ケース： プラチナ仕様、サファイヤクリスタル・バック、3気圧防水、
6時位置にダイヤモンドをセッティング
- 寸 法： 直径：42.2 mm
厚さ：11.6 mm（サファイヤクリスタル・ガラス～ケースバック）
厚さ：11.95 mm（サファイヤクリスタル・ガラス～ラグ）
ラグ間隔：21 mm
- 文字盤： 真鍮、エボニーブラック・ソレイユ
・スーパーミノヴァ夜光付18金ホワイトゴールド植字アラビア数字
・スーパーミノヴァ夜光付ブラック仕上げゴールド・バトン型現地時刻表示用時・分針
・ホワイト塗装ゴールド・バトン型スケルトン出発地時刻表示用時針
・スーパーミノヴァ夜光付ゴールド秒針
・ホワイト塗装リーフ型日付表示針
- バンド： マット・ブラックに反対色のステッチが入ったカーフスキン、
プラチナ製ネジ止めピンバックル
- 技術特許： アラーム機構に関する4件の技術特許を申請中
・アラーム時刻の設定時における機械的な遊び補正
・アラームの論理的な機能性
・アラーム時刻のデジタル表示
・アラーム専用ぜんまいの巻き上げ停止

